

令和7年度第1回ジュニア・市政モニターアンケート結果

テーマ 「日常の移動手段について」

- (1) 目的 相模原市内には、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通があり、相模原市交通政策課では、鉄道の延伸促進や路線バスの輸送力の確保、駅やバスターミナルの機能強化、地域の実情に合わせたコミュニティ交通の導入など、様々な取組を行っています。
- 今回の調査は、交通環境をもっと移動しやすく、もっと外出したくなるようにする取組の参考とするため、アンケート調査を実施したものです。
- (2) 回答者数 180人
- (3) 調査期間 令和7年6月30日（月）から令和7年7月18日（金）まで
- (4) 結果要約 問11と問12では、平日（学校を除く）と休日の用事を伺いましたが、平日に比べて休日はとくに「塾・習い事」「通院」が少なく「買物」「娯楽」が目立って多い結果となりました。また、問11-2と問12-1では移動手段を伺いましたが、平日に比べて休日は「自転車」が少なく「鉄道」「路線バス・乗合タクシー」等の利用が多い結果となり、休日の外出に公共交通機関がより多く利用されていることが分かりました。
- 一方で、問12-2と問12-3では、休日の外出は往復5km未満が多く、交通費も1,000円未満が多い結果となり、外出先はおおむね市内又は周辺の市町が多数を占めることが示唆されました。
- 問13で伺った、無理なく休まずに歩ける距離は、「1,000mまで」「1,500mまで」等が上位の回答となりました。
- 問14の自由意見では、鉄道やバスの本数が少ないとの意見や道が狭く自動車との距離が近くて危険を感じるなどの意見が多く、また、中山間地域におけるバス路線の廃止については大変厳しい意見が寄せられ、移動しやすく、外出したくなるような交通環境の実現には課題の多い結果となりました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

※問3～問10の「がん検診に対する意識や考えについて」及び問15～問19の「介護・障害福祉分野の仕事のイメージについて」は別途掲載します。

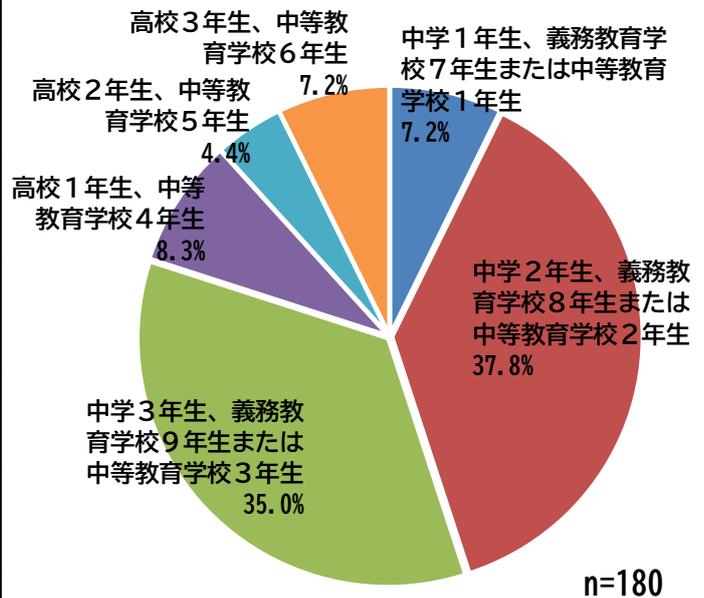
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの学年をお答えください。(○は1つ)

- 1 中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生
- 2 中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生
- 3 中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生
- 4 高校1年生、中等教育学校4年生
- 5 高校2年生、中等教育学校5年生
- 6 高校3年生、中等教育学校6年生

選択肢	回答数	回答分布
中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生	13	7.2%
中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生	68	37.8%
中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生	63	35.0%
高校1年生、中等教育学校4年生	15	8.3%
高校2年生、中等教育学校5年生	8	4.4%
高校3年生、中等教育学校6年生	13	7.2%
計	180	100.0%

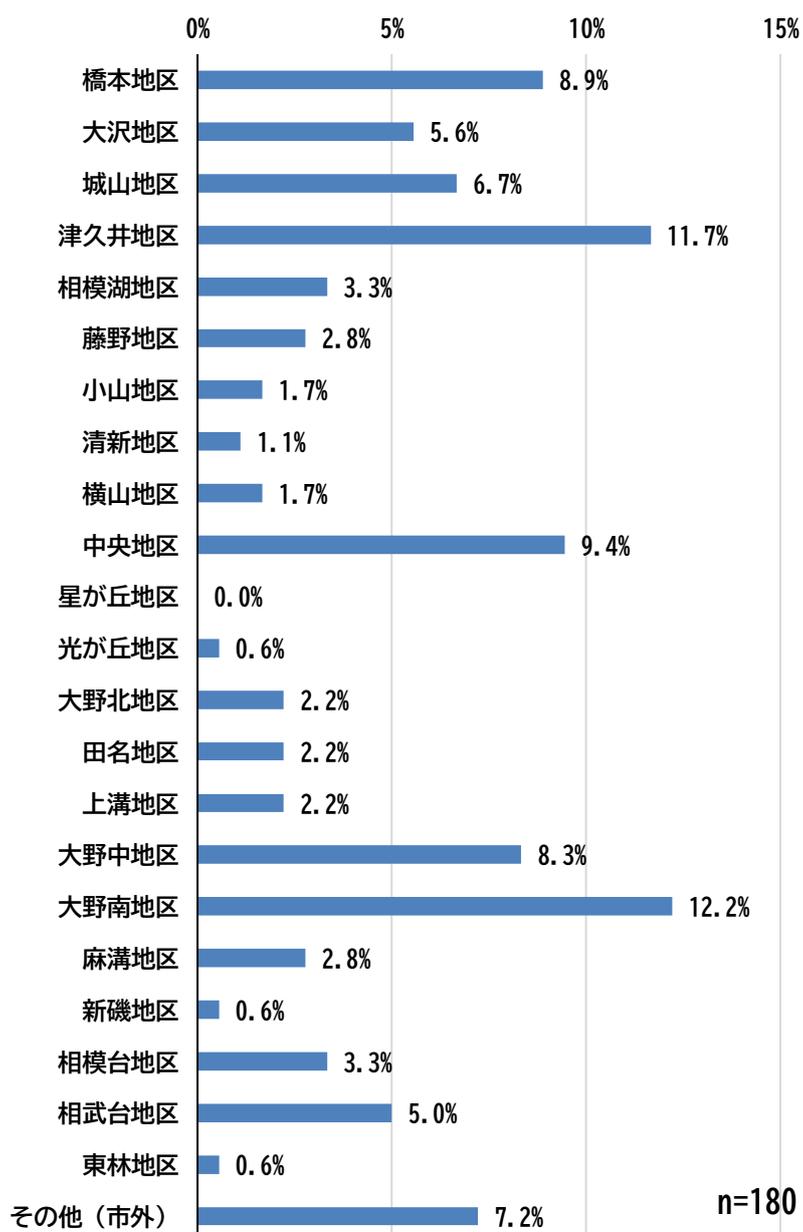


☆ 回答された方の学年は以上のとおりです。

【問2】あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

【緑区】	【中央区】	【南区】	【その他】
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区	23 その他(市外)
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区	
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区	
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区	
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区	
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区	
	13 大野北地区	22 東林地区	
	14 田名地区		
	15 上溝地区		

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	16	8.9%
大沢地区	10	5.6%
城山地区	12	6.7%
津久井地区	21	11.7%
相模湖地区	6	3.3%
藤野地区	5	2.8%
小山地区	3	1.7%
清新地区	2	1.1%
横山地区	3	1.7%
中央地区	17	9.4%
星が丘地区	0	0.0%
光が丘地区	1	0.6%
大野北地区	4	2.2%
田名地区	4	2.2%
上溝地区	4	2.2%
大野中地区	15	8.3%
大野南地区	22	12.2%
麻溝地区	5	2.8%
新磯地区	1	0.6%
相模台地区	6	3.3%
相武台地区	9	5.0%
東林地区	1	0.6%
その他(市外)	13	7.2%
計	180	100.0%



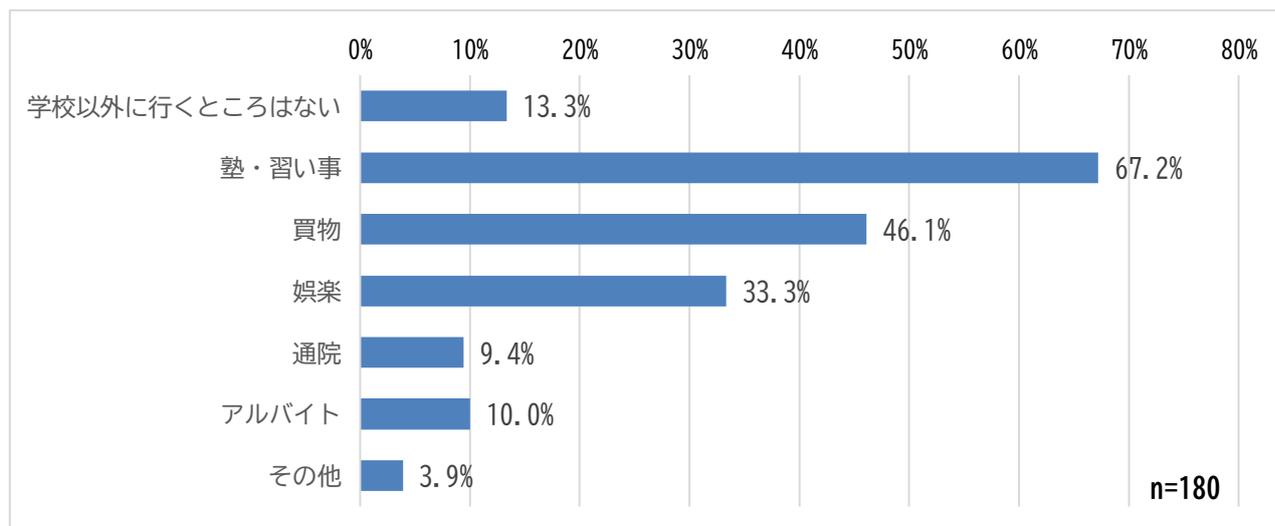
☆ 回答状況は以上のとおりです。

【問 11】 平日に、学校以外へ出掛ける用事がありますか。それは主にどんなものですか。

(〇はいくつでも)

1 学校以外に行くところはない (⇒問12へ)	5 通院 (⇒問11-1・11-2へ)
2 塾・習い事 (⇒問11-1・11-2へ)	6 アルバイト (⇒問11-1・11-2へ)
3 買物 (⇒問11-1・11-2へ)	7 その他 (具体的に：)
4 娯楽 (⇒問11-1・11-2へ)	(⇒問11-1・11-2へ)

選択肢	回答数	回答割合
学校以外に行くところはない	24	13.3%
塾・習い事	121	67.2%
買物	83	46.1%
娯楽	60	33.3%
通院	17	9.4%
アルバイト	18	10.0%
その他	7	3.9%



《その他の内訳》

・飲食、部活、オープンキャンパス 等

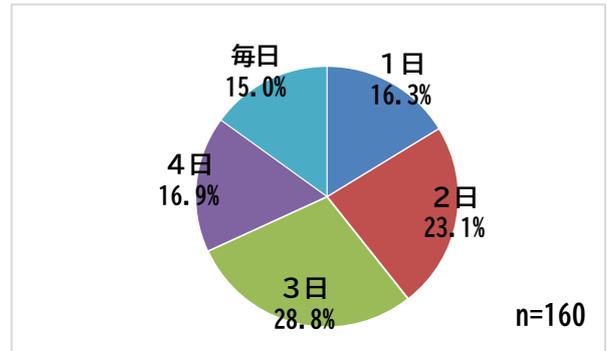
☆ 「塾・習い事」が67.2%で最も多く、続いて「買物」が46.1%、「娯楽」が33.3%でした。

《問 11 で 2～7 の中から回答をお選びの方へ》

【問 11-1】 平日に、学校以外に出掛けることは週に何日ありますか。(○は1つ)

1 1日	4 4日
2 2日	5 毎日
3 3日	

選択肢	回答数	回答割合
1日	26	16.3%
2日	37	23.1%
3日	46	28.8%
4日	27	16.9%
毎日	24	15.0%
計	160	100.0%



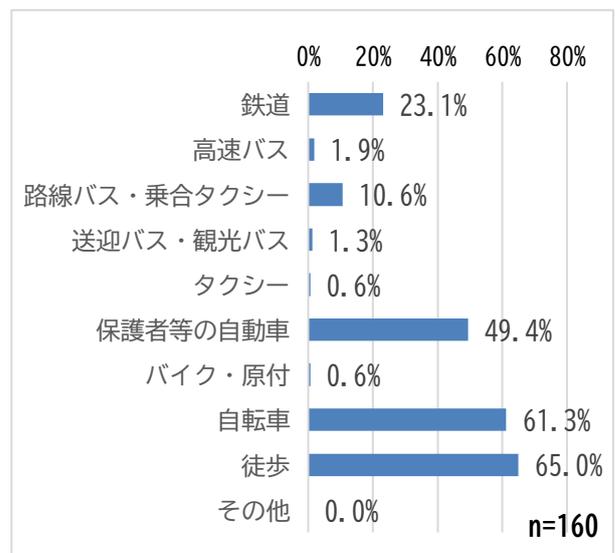
☆ 「3日」が最も多い結果になりました。

《問 11 で 2～7 の中から回答をお選びの方へ》

【問 11-2】 平日に、学校以外に出掛けるときの主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1 鉄道	6 保護者等の自動車
2 高速バス	7 バイク・原付
3 路線バス・乗合タクシー	8 自転車
4 送迎バス・観光バス	9 徒歩
5 タクシー	10 その他（具体的に： ）

選択肢	回答数	回答割合
鉄道	37	23.1%
高速バス	3	1.9%
路線バス・乗合タクシー	17	10.6%
送迎バス・観光バス	2	1.3%
タクシー	1	0.6%
保護者等の自動車	79	49.4%
バイク・原付	1	0.6%
自転車	98	61.3%
徒歩	104	65.0%
その他	0	0.0%

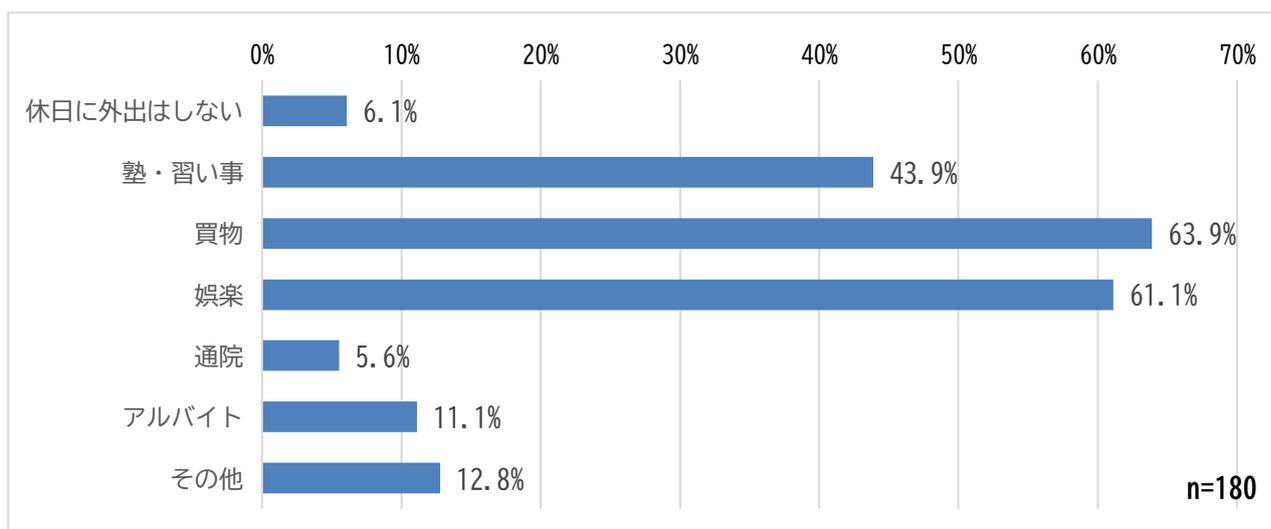


☆ 「徒歩」「自転車」「保護者等の自動車」が多く、鉄道はおよそ 23%、路線バス・乗合タクシーはおよそ 11%の結果になりました。

【問12】 休日に、出掛ける用事は、主にどんなものがありますか。(〇はいくつでも)

1 休日に外出はしない (⇒問13へ)	5 通院 (⇒問12-1～12-3へ)
2 塾・習い事 (⇒問12-1～12-3へ)	6 アルバイト (⇒問12-1～12-3へ)
3 買物 (⇒問12-1～12-3へ)	7 その他(具体的に：)
4 娯楽 (⇒問12-1～12-3へ)	(⇒問12-1～12-3へ)

選択肢	回答数	回答割合
休日に外出はしない	11	6.1%
塾・習い事	79	43.9%
買物	115	63.9%
娯楽	110	61.1%
通院	10	5.6%
アルバイト	20	11.1%
その他	23	12.8%



《その他の内訳》

・部活、学校説明会、模試、家族の家に訪問 等

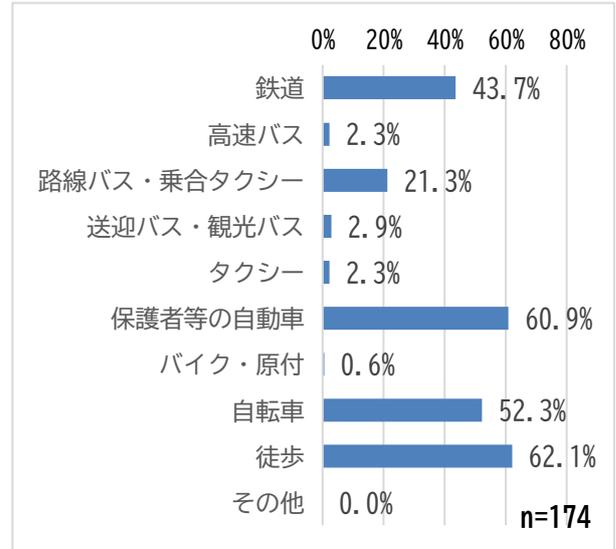
☆ 平日と比べて、「塾・習い事」が少なく「買物」「娯楽」が多い結果になりました。

《問 12 で 2 ～ 7 の中から回答をお選びの方へ》

【問 12-1】 休日に、出掛けるときの主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

1 鉄道	6 保護者等の自動車
2 高速バス	7 バイク・原付
3 路線バス・乗合タクシー	8 自転車
4 送迎バス・観光バス	9 徒歩
5 タクシー	10 その他（具体的に：)

選択肢	回答数	回答割合
鉄道	76	43.7%
高速バス	4	2.3%
路線バス・乗合タクシー	37	21.3%
送迎バス・観光バス	5	2.9%
タクシー	4	2.3%
保護者等の自動車	106	60.9%
バイク・原付	1	0.6%
自転車	91	52.3%
徒歩	108	62.1%
その他	0	0.0%



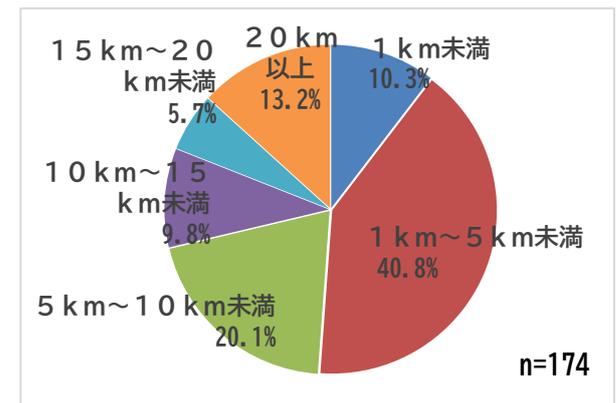
☆ 平日と比べて、「自転車」が少なく「鉄道」「路線バス・乗合タクシー」「保護者等の自動車」が多い結果になりました。

《問 12 で 2 ～ 7 の中から回答をお選びの方へ》

【問 12-2】 休日の、自宅から目的地までの往復の移動距離はどれくらいですか。(〇は1つ)

1 1 km未満	4 10 km～15 km未満
2 1 km～5 km未満	5 15 km～20 km未満
3 5 km～10 km未満	6 20 km以上

選択肢	回答数	回答割合
1 km未満	18	10.3%
1 km～5 km未満	71	40.8%
5 km～10 km未満	35	20.1%
10 km～15 km未満	17	9.8%
15 km～20 km未満	10	5.7%
20 km以上	23	13.2%
計	174	100.0%



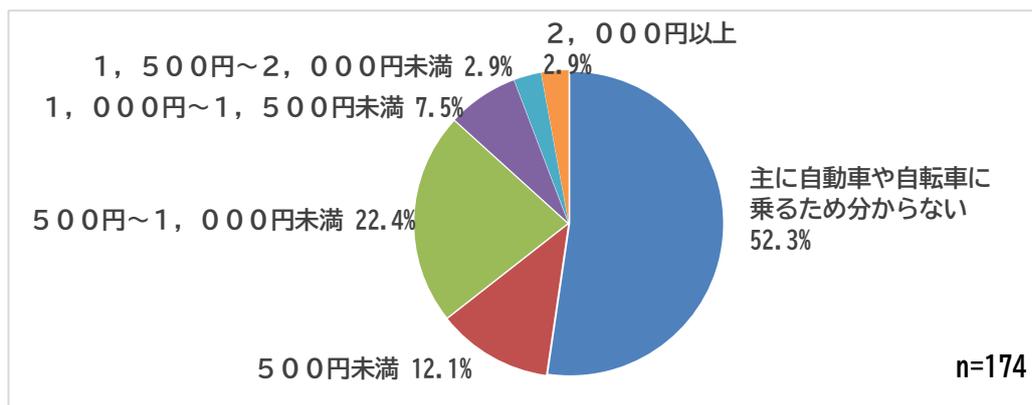
☆ 5 km未満の回答が過半数を占める結果となりました。

《問12で2～7の中から回答をお選びの方へ》

【問12-3】 休日の、1日に使う交通費はどれくらいですか。(○は1つ)

1 主に自動車や自転車に乗るため分からない	4 1,000円～1,500円未満
2 500円未満	5 1,500円～2,000円未満
3 500円～1,000円未満	6 2,000円以上

選択肢	回答数	回答割合
主に自動車や自転車に乗るため分からない	91	52.3%
500円未満	21	12.1%
500円～1,000円未満	39	22.4%
1,000円～1,500円未満	13	7.5%
1,500円～2,000円未満	5	2.9%
2,000円以上	5	2.9%
計	174	100.0%

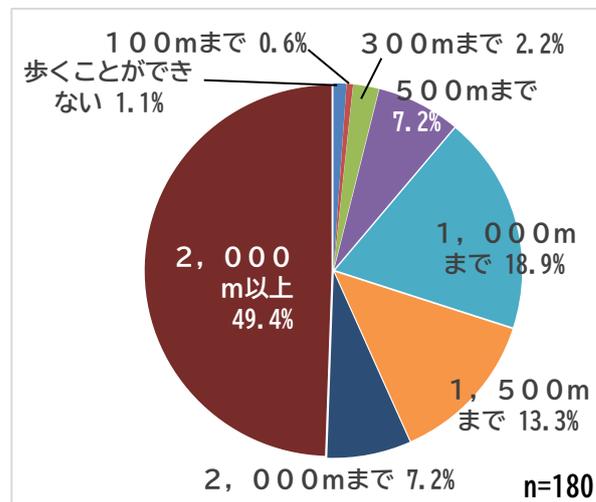


☆ 自動車や自転車利用以外の場合は「500円～1,000円未満」が最も回答数が多い結果となりました。

【問 13】 無理なく休まずに歩ける距離はどれくらいですか。(〇は1つ)

1 歩くことができない	5 1,000mまで
2 100mまで	6 1,500mまで
3 300mまで	7 2,000mまで
4 500mまで	8 2,000m以上

選択肢	回答数	回答割合
歩くことができない	2	1.1%
100mまで	1	0.6%
300mまで	4	2.2%
500mまで	13	7.2%
1,000mまで	34	18.9%
1,500mまで	24	13.3%
2,000mまで	13	7.2%
2,000m以上	89	49.4%
計	180	100.0%



☆ 2,000mまでの中では「1,000mまで」「1,500mまで」が上位の回答となりました。一方で、「歩くことができない」も1.1%ありました。

【問 14】 公共交通に関して不便に感じることや気になることがありましたら、ご自由にご記入ください。(不便に感じることや気にならない場合は「なし」とご記入ください。)

※多数いただいた回答から抜粋して掲載

鉄道・バスの利便性について 22件

バスや鉄道などの来る頻度が少ない。
バスの本数が土日は少なく、待たなければならないので、1時間に3~4本は出してほしい。
鳥屋地域に住んでいるのですが、バスが1時間、2時間に1回しか来ないので大変です。1回でも良いのでバスが走る回数を増やしてもらえませんか？
塾の帰りになると電車の間隔があくから少し不便を感じる時がある。
席をもう少し多くしてほしいです。
JR相模線の本数を増やしてほしいです。
相武台前駅急行止まってほしい。

など

鉄道・バスの速達性について 3件

JR東日本の横浜線の相模原以北の速達性がかけている。
快速電車で停まる駅が多すぎて、早く行けない。

バスが 10 分 20 分遅れて来ることがある。

運賃について 8件

小学生までは神奈中バスは 50 円だったからいつでも乗れたけど中学生から高くなって気安く使えなくなってなかなか遊びにいかなくなった。

バスに乗ったとき現金で支払う場合、支払う金額が分かりにくいこと。

定期以外にも学割料金設定してほしい。

など

混雑について 5件

混んでいるときに、バスなどから降りることが難しく、次のバス停に行ってしまうことがある。

通勤時間や退勤時間になると人混みが増える。

駅のホームの混雑

など

マナー・トラブルについて 5件

マナーを守れてない。

少し前電車でお出かけしたときに体調がすぐれないときがありました。その時優先席には帰りのサラリーマンや遊びに帰っている人たちが寝ていて起こしても相手がいい気持ちにはならないしみんなから見られて嫌だと思って、少し辛い時がありました。

電車の中でうるさく YouTube の撮影をしている 3 人組がいた。

など

道路環境について 11件

道が狭く、車との距離がギリギリ。大きな段差が所々あり、一度自転車から降りて押して歩かなければならない。カーブミラーを曲がり角につけてほしい。

歩道が狭いため、自転車での移動がしづらい。

自転車で車道を走るときに車が近く当たりそうで怖いので、歩道を押して歩いたりしなければならないのが不便と感じます。

道路の道幅が狭くて危険を感じることもある。自転車専用道路があまり整備されておらず、どこを走っていいかわからないことがある。

道路が狭いので歩いていると車との距離が近くて怖い。押しボタン式信号機がめんどくさいと感じる。

谷口陸橋下の交差点で、その先のスクランブル交差点の影響が多く、車が赤信号になっても道路に立ち往生している。横断歩道を渡る際に車にぶつかってしまわないか・ぶつからないか心配になります。

ミハタ*の近くに信号がなくて自動車などがぶっ飛ばしてること。

(※緑台小学校の南 200m 付近)

など

鉄道・駅環境について 3件

女性優先車両の必要性は疑問に思うことがある。私は女だが、男の人も痴漢にあうことがあるから、女性と限定するのはどうなのかと思った。

相武台前駅のトイレがきたない。

トイレの洗面所に嘔吐物がそのままになっていることがあった。

バス待ち環境について 3件

橋本駅南口のバス停、屋根が少なすぎて雨の日に変なことになる。

バス停の待つ場所が狭い。

バスの案内が分かりにくい。

バス路線の減便・廃止について 4件

津久井地区は人口減少に伴ってバスの路線が減っているのが不便とされます。

路線バスの廃止を取りやめてほしい。

ただでさえ山ばかりで自転車などで出かけるのが大変でバスや電車を使わないといけない中、神奈中バスが廃止になってしまったら、緑区の特に西側は移動がもっと大変になってしまう。スクールバスがある中学生のうちはまだ欠落を補えるけれど、高校生になったら家から移動する手段がなくなってしまう。もしその家が自動車を持っていなかったり、そもそも変えなかったら、その生徒は歩いて通学することになる。特に藤野は山に囲まれているため、自転車移動も厳しい。すると自動車移動のしかなくなり、よりCO2が排出されるため環境に悪い。また自動車を持たなければ住めないような場所に全員が住めるわけではないから、自動車を持たず徒歩などで移動できる都心にさらに人口が集中し、一極集中の悪化につながってしまう。リニアなどで町が活性化するような雰囲気になり見落としがちだが、もっと市民に対して交通の面でも優しい市になってほしい。特になぜ神奈中バスを廃止したのか。私の周りの人は全員廃止に対して不満を抱いている。もっと考えてほしい。過密レベルの都市に注目するのではなく、人口が減り、生活がしにくくなっている過疎地域にもっと目を向けるべきだと私は思います。

バスがないと学校へ通うことが大変になる。休日に出かけることが困難になる。普段バスを使って学校へ来ている生徒や休日に友達と遊びに行くとなったとき、バスが急に廃止になると親への負担が多くなると思う。中学生のうちは、スクールバス利用することができるかもしれないですが、スクールバスを利用できない高校生や大学生はどのように駅までくればよいのか疑問に思います。子供だけでなく、ご高齢の方も利用するためご高齢の方はもっと交通が不便になり、ご高齢の方の面倒や世話をしている親への負担が多くなる。以上のことから、バスを廃止すると親への負担がかなり大きくなる。政府や市議会は、親への負担を少しでも減らし、子供やご高齢の方が田舎に住んでほしいと思っているのなら、バスを廃止したときのデメリットをちゃんと考えてほしいです。子供なんかは、田舎で暮らすよりも都会の方が便利になり、都会に住むようになると思います。地元を愛する人間がいなくなってしまう可能性も考えられます。

今後の活用

今回のアンケートでは、日常の移動において現状の道路環境について感じている危険や、公共交通機関の減少に端を発する、まちの将来への不安などのご意見が寄せられ、現状に対しても将来に対しても課題の多い結果となりました。

市では「相模原市総合都市交通計画」において「誰もが快適に安全で安心して移動できる交通環境の整備」や「将来にわたり持続可能な交通体系の確立」を掲げていますが、それらが想定どおりに実現していないことが示唆され、今後の交通計画の見直しに向けては、今回のアンケート結果や寄せられたご意見を踏まえた検討を進めてまいります。

「日常の移動手段について」に関するお問合せは、こちらへお願いいたします。

相模原市 都市建設局 まちづくり推進部 交通政策課 交通計画班

電話 042-769-8249 (直通)

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15 市役所第1別館4階